

令和3年4月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和3年4月26日（水）13時～14時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞、読売新聞、毎日新聞、河北新報、
置賜日報、NHK、SAY、YTS

<市>市長、秘書広報課長、健康課長

4 記者倶楽部からの質問事項

(1) 新型コロナワクチン接種の模擬訓練と24日からの接種で見えた実施状況と課題をお聞かせください。

(2) 山形県内でも新型コロナウイルスの変異株が確認され、県内の専門家からは県外からの参加者が多くなるイベントの開催や県外との不要不急の往来を避けるべきだという意見もあります。

米沢市ではマイクロツーリズム誘客促進支援事業も先の議会で可決されましたが、この事業は引き続き実施する予定ですか。また、県内の感染拡大が収まらない中で5月の大型連休を迎えることとなりますが、この連休中の観光誘客についてどのように取り組めますか。あるいは積極的な誘客は控えるのかなど、米沢市としての見解をお聞かせいただきたいです。

(3) その他

5 内 容

○秘書広報課長

これより令和3年度4月の定例記者会見を開催させていただきます。初めに、市長から発言がございます。

○市長

はい。この度の定例記者会見のご質問は2件でございました。

まず第1点目の、「新型コロナワクチン接種の模擬訓練と24日からの接種で見えた実施状況と課題をお聞かせください。」ということでもあります。なお、土日、昨日一昨日との接種だったため、詳細を把握していない部分もあります。今日は健康課長が

来ておりますので、詳細にわたっての御質問があれば、健康課長からお答えをさせていただきますと思います。

まず、4月10日に模擬訓練実施をさせていただきました。その中で課題となったことではありますが、会場の受付が混み合い密な状態になったことや、誘導スタッフが少なかったと報告を受けております。そういったことが模擬訓練で、4月24日土曜日は195人が接種を受けられました。そして、25日の日曜日には385人、計580人の皆様に接種をいただいたわけでありまして。そして、予診によって体調不良のため、接種できなかった方が1名おいでになります。

また、キャンセルされた方が4名おいでになりまして、計5名の方が接種できませんでした。ただ、この接種できなかった5名分については、適正に対応をさせていただいて、ワクチンが余るということはありませんでした。

細かいところにつきましてはこれからご質問あれば担当の健康課が回答させていただきます。ただ、当日模擬訓練で課題となっていたところを十分に対応させていただきましたので、この模擬訓練での課題になったところについては、解消されたと報告を受けております。

また、模擬訓練でもそうでありましたが、今回の接種においても民生児童委員の皆さんに大変ご協力いただき、大変ありがたく思っております。改めて、感謝を申し上げたいと思っております。今後は個別医療機関をはじめとして、6月からは舟山病院や、国立病院機構米沢病院でも集団接種を開始することから、医師会とも十分に連携をはかりながら、市民の皆さんがワクチンを安心して接種できる体制づくりに努めてまいりたいと考えております。

次に、2番目ではありますが、「山形県内でも新型コロナウイルスの変異株が確認され、県内の専門家からは、県外からの参加者が多くなるイベントの開催や県外との不要不急の往来を避けるべきだという意見もあります。米沢市ではマイクロツーリズム誘客促進支援事業も先の議会で可決されましたが、この事業は引き続き実施する予定ですか。また、県内の感染拡大が収まらない中で5月の大型連休を迎えることとなりますが、この連休中の観光誘客についてどのように取り組みますか。あるいは積極的な誘客は控えるのかなど、米沢市としての見解をお聞かせいただきたいです。」という内容でございます。

まず、マイクロツーリズム誘客促進支援事業ですが、これは皆さまご承知のとおり、主要観光地である上杉神社エリアの参道付近や、道の駅米沢などにおいて、上杉太鼓などによるおもてなし事業を年間とおして実施することにより、観光PRを行いながら、米沢のイメージアップを図るととともに、賑わいづくりを行うものである、という趣旨であります。これを今後引き続き実施する予定か、ということではありますが、新型コロナウイルス感染症が落ち着かない状況ではありますが、感染症対策を万全にしながら、実施していく予定であります。

この連休中の観光誘客についてはどのように取り組みますか、あるいは積極的な勧誘は控えますか、という御質問であります。米沢の最大のイベントであります春

の上杉まつりが延期となっております。県外からの誘客については、県からも自粛、県外からは来ないでくださいという知事の会見もあったわけであります。そういった状況の中で米沢の春のイベントが延期になったということで、当然、県外からのお客様は緊急事態宣言が発せられているエリアもありますから、そういったところに対しての入り込みは期待ができないという状況にあります。

また、こういう状況においては、誘客を積極的に行うという考えは持っていないところであります。ただ、市民を対象にしまして、米沢 春の元気回復キャンペーン「春爛漫！味わい・賑わい 米沢フェア」を開催しております。「上杉まつり ONLINE」や「魂の響演」、テイクアウト物販等の各種イベントを通して、市民の皆様の元気と地域経済の回復を図っていきたいということで、市民向けのイベントは開催をさせていただくということにしております。今申し上げましたように、そういったことで積極的な誘客については不可能であるという判断をしております。そういう状況でありますので、感染が落ち着いている市内や、置賜地域をはじめ、比較的移動距離の短い周辺地域を主な対象として、近場観光を推進していきたいと考えております。

以上2点について、説明、報告をさせていただきました。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては幹事社にお渡しをいたしますので、よろしくお願いいたします。

○幹事社

よろしくお願いいたします。まず、先ほど模擬訓練の課題は解消される形で24日から始まっているということでしたが、市長としてはこの最初の24・25日に関しては順調に進んでいるという認識でよろしいでしょうか。

○市長

はい。私としては、4月10日の模擬訓練を実施して課題が分かったわけでありますので、それに対してしっかりと取り組みながら、24・25日の接種については順調に推移したと報告を受けて、感想を持っているところであります。

○記者

ワクチンの確保を含めて待ってらっしゃる方はいっぱいいらっしゃると思うのですが、そういった方に対して改めて伝えたい部分はこういったものですか。

○市長

このたびの接種については予約券を発送させていただいたのは85歳以上の方ということであります。国の方針があるわけですが、ワクチンが順調に入るようになったらまず、65歳以上の方々に一人でも多くの接種を受けていただくように、今後も市民の皆様をお願いをしながら、コロナの1日も早い収束を目指していかなければならないと考えています。

○記者

最初の質問でおっしゃった、キャンセルや体調不良で受けられなかった5名については24・25日どっちの日で何名出たのか、また先ほどおっしゃった適切な対処を

されたということの具体的な内容を教えていただきたいのですが。

○健康課長

25日(日)の接種において、5名接種できなかった方がおりますが、この5名分については集団接種に従事しております看護師に接種するというので適切に対応しまして、ワクチンの余剰はございませんでした。

○記者

そのうえで市長に伺います。今後も接種が進む中で、またおそらく途中で打つのをやめるといったキャンセルのケースは発生すると思うのですが、市としてもできるだけスムーズに接種を進めるうえで、できるだけそういったことは控えてほしいというようなメッセージがあればお伺いしたいです。

○市長

まず当面、国で言っているのは65歳以上の高齢者ということで、米沢市の場合には先ほどからご説明をさせていただいておりますように85歳以上、そしてこれから80歳以上の方に予約券を発送させていただきまします。そして、順調にワクチンの量が供給されるという目途が立った段階で65歳以上の皆様方に予約券を発送するという段取りになっております。

今後、供給量との関わりもありますが、今お話にありましたように、予約したけどどうしても都合が悪くなったとか、その日の体調が悪かったとか、いろんなキャンセルが出てくるのではないかと考えております。その点については、今朝報告を受けたときに担当にお願いしたのは、いずれにしても今後そういったケースが出てくるだろうから、そのときの対応について、ワクチンの廃棄にならないように、どのように予定以外の接種をするか体制づくりを考えておいてほしいと指示しました。

○記者

予約をした市民については何かメッセージはありますか。

○市長

今回の24・25日の接種を経験して、心配されておられるようなこともさほどなかったと聞いております。予約券が発送されましたら、予約が取れる、取れないはワクチン量との関わりもありますが、予約された皆様においては、しっかりと安全安心であると認識をいただきながら、我々も安全安心ということについてはPRと言いますか、お知らせしながら、一人でも多くの皆様に接種を受けてもらいたいとお願いをしなきゃならないと思っております。

○記者

できるだけ予約した日に来てほしいということでよろしいでしょうか。

○市長

そうですね、はい。ただこれから一定程度、集団接種も他の病院でもできるようになりますし、またいずれは個人の医師会の先生方の31の医療機関でも個人接種が可能になりますので、そういったことも市民の皆様にお知らせをしながら、安全安心のためどこで受けてほしいという思いも市民の皆様お持ちになっているでしょうから、今

後それぞれの診療機関での個人接種になった場合は、そのような対応もしなければならぬとのことで、医師会との連携もしっかりととっていきたい。

○記者

ワクチンの入荷目途を教えてください。

○健康課長

ワクチンの本市に入ってくる状況は、1箱目が4月18日の日曜日に入りまして、2箱目が4月25日の日曜日に入りました。あとこれから、4月中にもう1箱入ってくる予定です。

○記者

1箱は数で言うとそれぞれいくつでしょう。

○健康課長

1箱は195バイアル、975回分です。当面は1バイアルあたり5回分取れる注射器が来ます。

○記者

25日なのですが、接種は385人ですか。

○健康課長

はい、接種は385名です。

○記者

もともと予約は390人で、385人で、5人分余ったのは看護師さんに接種されて、いずれにしても390人ということでしょうか。

○健康課長

そうです。高齢者の接種分は385人です。

○記者

65歳以上への接種券の発送日を今一度確認したうえで、市長としてはその接種券を受け取った場合、どういう申し込みをしようとお考えでしょうか。

○市長

私ですか。さっそくやります。

○記者

申し込むということですね。

○市長

はい。

○記者

65歳以上の発送はいつでしょうか。

○健康課長

65歳から79歳の方の接種券の発送は4月27日を予定しています。

○記者

先日、県の市長会の議題になったと思いますが、県の保育料の段階的無償化の件で色々な意見が出たとのことですが、市長のお考えが伝わってこないのですが、どうい

うお考えでしょうか。

○市長

これは議論ではなくて、各市からの要望事項でした。そして、マスコミさんで報道された市からはそれぞれの考え方があって県のほうに要望された項目で、米沢市からは別の項目で要望をしました。そういったこともあって、伝わってこないというわけでありましたが、私とするならば、もともと今年度の予算を編成した後で、知事選挙が終わった後で、こういったことが県から話があったと担当から聞いております。ただ、この対応については、子育て支援という一環からしてみると、私は悪いことではないと思っております。ただ、事業の良し悪しは別として、県と市、市町村と言ってもいいのしょうけども、連携協議がなされないままにこういった状況になったことについては、間違っているのではないかという思いは持っておったということであり

○記者

今回、県からの市町村に対するどういう提案だったのでしょうか。県としては無償化したいから、半額を市町村にお願いしたいということでしょうか。

○市長

そういう内容だと理解しております。県が半分出すから市町村も半分出してくださいと。簡単に言うとそういう内容です。

○記者

これは、提案なのですか。

○市長

提案というよりも、3月県議会の定例会で予算は可決されて、その常任委員会では付帯決議まで出ていると私は県議員から伺っております。これはしっかりと市町村と協議の場を持っていただいて検討すべきことでないかと。そうでないと、相当な財政負担も伴いますので、対応できるところもあれば、対応が難しいというところもある。ただそれ以上に市長会で問題となったのは、県と市町村の協議の場もなく、県事業が進んでいいのか、という内容のことが多くあったと感じました。オンラインでの市長会でした。

○記者

市長会の中では、県と市町村は対等というより予算の使い道を決められてしまったという印象、感想を述べた市もあったようですが。市長としてはどう思っていますか。

○市長

最初から言っているように、協議の場が全然無い段階で、どうこう言うっていうことは、私としては分かりましたとは言にくい、言えないということでもあります。

○記者

市長会としては、意見書を県の方に出したのでしょうか。

○市長

いや、意見書ではないです。担当部長さんもお見えになっていましたので、持ち帰

って検討する状況だと判断しました。

○記者

県が持ち帰るということですか。

○市長

そうです。市長会としては、こういうやり方はうまくないであろうという声がかつていたので、その声を持ち帰るという形で。市長会としての意見を部長さんだけでは判断しにくい内容でしょうから。

○記者

成人式について、今日リリースがありました延期というのは、改めて市長にお伺いしたいのは、延期の判断の経過について、規模縮小とか地元のみとか、他の自治体では色々と対応があったと思うのですが、延期の判断に至った経過を教えてください。

○市長

はい。今このように感染拡大が広がっているという状況の中で、先ほどもお話ししましたように、緊急事態宣言が発せられている首都圏にも米沢から学びや仕事で行っておられる方もお出でになられるわけがあります。そういったことを考えると、今、県境を越える往来は自粛してほしいという中でもありましたので、これはどうするかという判断に迷ったところもありましたが、最終的には、人生において1回しかない成人式でありますので、私としてはできるだけ多くの皆さんに参加してほしいという思いで、実際的には予定どおりに、例えば山形市さんのように県外からの成人の方はお断りしながら開催するところもありますし、今日の報道のように延期するところもありました。その中で、予定どおり5月4日にやるのか、あるいは地元だけの成人の方でやるのか、それとも延期するのか、3つの選択があったわけです。去年の成人式も延期して11月にやったわけがありますが、やっぱり人生の大きな節目の成人式でありますから、できるだけ場所を限定するという事は避けたいということで、延期という道を選ばせていただいたという思いです。

○記者

当該の学年の成人にメッセージとしてはどのような言葉をかけたいでしょうか。

○市長

成人の方だけでなく、今こういった延期をするという後のメッセージでありますから、とにかくコロナを収束して、日常の生活に戻って、二十歳の誕生日でもありますので、楽しくみんなで成人式をやりましょう。そのために延期させてください、ということをお願いしたい。

○記者

実数的なことで、分かればですが、今年度の参加人数の規模、そのうち、県外から帰ってくる見通しだった方々何人ぐらい、実数として出れば。

○市長

実数は、確認していません。今日担当と打ち合わせたとき、現在県外からの申し込みがどうなっているか確認したのですが、数字的には掴んでいないということでした。

もし必要ならば、今回の成人の人数と県外者がどの程度成人になられたかは後で報告させていただきます。

○記者

延期の時期はまだ断言できないと思いますが、目安は市長の中にございますか。

○市長

できれば、緊急事態宣言が解除されたらとか、早いうちにやりたいが、1つの大きなイベントであります。男子もそうでありますが、女子の成人のみなさんにとっては、1つの人生の思い出になるような成人式であると。家族の方もそういった思いは持っていると思いますので、あまり暑い中では大変なのかな、と。秋口以降になってしまうのかなと思っております。

○記者

成人式が11月にできて、今回できないという判断に至った1番の理由だけ教えてください。

○市長

緊急事態宣言が発出されておりますので、地元だけの成人式ならやれると思います。ただ、先ほどからお話ししておりますように、県外だから来ないでくださいということは言えません。みなさんがやれる環境を作ってあげたいと、そういうことを考えた場合には、一定程度収まりが見える秋以降に延期すべきではないかと判断したところです。

○記者

当該のみなさんへの通知はどうなっているのでしょうか。

○市長

今日の段階で、朝の調整の中でそうさせていただきました。これだけは丁寧に延期のお知らせをしてください、と指示しました。

○記者

振り返ればちょうど1年前の今頃は、新成人に限らず、帰省自粛してくださいとポスターを作って市長も呼びかけられましたが、このゴールデンウィーク前に、帰省について市長からメッセージはありますか。

○市長

1年前は走りということもありまして、極力そういったものについては対応しなければならぬだろうということでありました。1年を経過して、状況的に慣れたというわけではないが、それぞれの思いももちろんありますし、しっかり感染防止も守っていただきながら、帰省とかそういう対応をする方も中にはおいでになると思いますので、1年たった今において、ポスターみたいなものについては今のところ考えていません。

○記者

成人式まで10日を切ったわけですが、キャンセルに伴う補償については何か考えていますか。

○市長

市でキャンセルが発生するものについては、そんなにはないと思っています。

○記者

例えば、着付けとか予約があると思うのですが。

○市長

そういったものは、中止ではなく延期をすることで、そういったことも後々また対応していただけるようにということも踏まえて、丁寧に説明してほしいという案内を成人のみなさんに出してほしいと先ほどお願いしたところです。

○記者

今日は午前中、長井の新庁舎の竣工式がありました。先日も川西町の竣工式がありました。米沢市だけ市長もご参加されず、市として出席依頼があったが欠席と返事をしたと聞いておりますが、いずれの市町についても欠席した理由、また、祝電も米沢市は何も出ておりませんでした。国会議員、市町長などが出ている場において、米沢市の影が全くない竣工式が2つあったことに非常に違和感がありました。市長として、どういうお考えでそういう判断をされたのでしょうか。

○市長

米沢市役所の竣工式は終わったわけでありまして。このコロナの状況を踏まえて、そういった大規模な、大勢お呼びをしてそういったものは避けるべきだろうと判断して、他の自治体にはご案内を出さない方向できておりました。そのあとに、川西、長井市さんからご案内をいただいて、自分のところで竣工するのにお呼びをしないで、私が呼ばれたから米沢市として対応するのは片手落ちだろうと。ですので、大変申し訳ないが、うちではご招待、お招きしませんので、今回の市町の竣工式にも米沢市としては欠席させていただきたいという風に、丁寧に断りしながら対応してくださいと指示しました。

○記者

それぞれの首長さんには伝わっていたと思いますが、今日集まった人たちからすると、非常に不思議な雰囲気がありましたので、ちょっと残念だなと。

○秘書広報課長

これを持ちまして令和3年度4月の定例記者会見を終了させていただきます。ありがとうございました。